

学校 教育 目標	【みつめ みがきあい みらいをひらく 南神の子】 ～自分や友達、地域を大切に、主体的に学び、互いに高め合う 子どもを育成します～ 【知】知識や経験をもとに考えたことを伝え合い、主体的に学ぶ力を育てます 【徳】自分も友達もみなかんのまちも大切にできる温かい心を育てます 【体】望ましい生活習慣を身につけ、運動に親しみ、心身共にたくましく生きる力を育てます 【公】すすんで社会とかかわり、社会の役に立とうと行動する力を育てます 【開】自分を見つめ、新しい価値観を受け入れながら、共に考え、よりよく生きていく力を育てます					
	学校 概要	創立 53 周年	校長 岩田 和也	副校長 楠田 融	2 学期制	一般学級：8 個別支援学級：3 児童生徒数：202 人 主な関係校：松本中学校・三ツ沢小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	松本中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に未来を創る力	松本中学校 三ツ沢小学校 南神大寺小学校	まちやひとと温かくつながり、みとめ合い、みらいを拓く子ども ①9年間で育てる資質・能力を意識した授業づくりや評価を含めたカリキュラムづくりを行い、共有する。 ②自分も人も大切に、共に高めあう心を育むために、自己肯定感や自己有用感を意識した児童・生徒の交流を目指す。 ③各教科等を9年間で学ぶ意義や育成を目指す資質・能力を明確化することで、「松本中ブロック小中一貫カリキュラム」としてまとめることを目指す。

中期 取組 目標	社会(まち・ひと)とつながり、多様な文化や価値観を取り入れながら広い視野で物事を捉え、課題の解決に向けて行動できる、持続可能な社会形成を担う人材の育成を目指します。 ○子どもたちが、課題を見出し、解決に向けて、試行錯誤しながら活動を進められるようにします。 ○子どもたちが、多様な他者とのコミュニケーションを図り、活動の価値に気付けるようにします。 ○子どもたちが、ものごとを前向きに捉え、自分らしさを発揮できるような教育活動を展開します。 ○教職員は、子どもたちの自己有用感を高め、家庭や地域と連携した学校づくりを進めます。 ○教職員は、人権尊重の精神を基盤とする豊かな心の育成を進めます。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①課題解決型の学習を進め、子どもたちは「何を」「どのように」学んだのかの振り返りを通して、成長を実感できるようにする。 ②単元の学習過程において、「個別最適な学び」の成果を「協動的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協動的な学び」を一体的に位置付け、各教科等の学習過程の充実を図る。 ③ICTを活用した教材(デジタル教科書、デジタル・AIDリル等)を活用しながら学習形態や方法を工夫した分かりやすい授業づくりに取り組む。
担当	授業改善部	
徳	人権教育	①様々な人との関わり(友達・異学年・地域)を重視した活動を通して、自他のよさや違いを認め合い、互いの人権や生命を尊重する子の育成を目指していく。 ②日々の授業や人権週間等における子ども自身も人権課題について考える学びやたてわり(異学年)活動の充実をはかる。 ③児童の基本的な人権に十分配慮し、一人一人を大切に人権教育を推進するとともに、「子どもの権利条約」の理念と趣旨を踏まえ、子どもの権利の観点から教育活動を見直すなど、人権教育の充実をめざす。
担当	児童指導部	
体	安全教育	①安全に関する様々な課題に関心をもち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとして、安全で安心な社会づくりに貢献しようとする態度を身に付けられるようにする。 ②生活上の問題を見付け、その解決のために話し合い、合意形成したことを協働して実践し、健全な生活や社会づくりの実践力を高められるようにする。
担当	体育科・特別活動	
公開	地域学校協働活動	①地域や関係機関の人と関わりを大切に、体験的に学ぶ機会を取り入れ、学んだことや体験したことを、地域に発信し共有体験を大切にする。 ②地域との関わりを大切に、学校地域コーディネーターの活用を進め、様々な地域活動に参加できるようにするとともに、地域の方々との教育活動への参画の機会を設けていく。
担当	教務部	
いじめへの対応		①毎月のいじめ防止対策委員会で、認知された事案の把握を行い、指導方針等の検討を行い、組織的に取り組んだ。毎月の職員会議時に研修を行うことで、全職員のいじめに対する意識を高め、未然防止・早期発見・早期対応に努めていく。 ②年2回のいじめアンケートや教育相談を行い、児童の実態把握に努めるとともに、些細な変化を見逃さない体制づくりをする。 ③職員がいじめに対するアンテナを高め、未然防止に取り組んでいけるような職員研修に努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①互いに補完しあう風通しのよい関係と授業づくりや研修によるキャリアステージに応じた教師力の向上を目指し、互いに学ぶ姿勢を持ち続けるように自己研鑽に努める。 ②ワークライフバランスを大切に事務の効率化や情報の共有化を図り、質の高い働き方をめざす。
担当	教務部	
特別支援教育		①特別支援コーディネーターを中心に、一般学級と個別支援学級の担任間の連携を行い、養護教諭や関係機関を含めた指導や支援体制をつくる。 ②支援を要する児童を的確に把握し、組織的に個に応じた支援が行うことができるように、必要に応じて校内委員会を行う。
担当	特別支援校内委員会	
児童指導		①スタディナビや横浜プログラムを積極的に活用することで、アセスメントの充実を図り、安心した学校生活を送れるような学級風土、学校風土づくりを行う。 ②児童支援専任や特別支援コーディネーターを中心に、SCやSSWを含めたネットワーク機能の充実を図り、今年度も全校で全児童を育てるという意識をもち、組織的な対応を行う。
担当	児童指導部	
担当		
担当		